

令和6年度（第1回）鳥取市国民健康保険運営協議会議事概要

1. 日時 令和6年8月22日（木） 午後1時30分～3時00分
2. 会場 鳥取市役所本庁舎 麒麟Square2階 多目的室1
3. 出席者
委員 西村教会長、外山委員、山本委員、有田委員、猪上委員、
西村清委員、水田委員、横山委員、松田委員、池田委員、
高須委員、今宮委森田委員、紅松委員
鳥取市 深澤市長、藏増福祉部長、池上次長兼保険年金課長、
梶医療費適正化推進室長、小森健診推進室長、池原収納推進課長、
藤本保険年金課課長補佐、井上国民健康保険係長、細谷主事、中村主事

4. 会議状況

発言者	発言内容（要旨）
事務局	ただ今より、令和6年度第1回鳥取市国民健康保険運営協議会を開会します。開会にあたりまして、西村会長よりご挨拶をいただきます。
会長	<p>委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、令和6年度第1回目の国保運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。さて、前回の協議会では、県が算定する令和6年度の納付金が大幅に減額され、歳入と歳出のバランスが保てる見込みとなったことから、保険料は据え置くことが適当であるとの結論を出し、答申いたしました。深澤市長にはこの答申内容を尊重していただき、議会でも承認されたところであります。</p> <p>新年度を迎えたわけですが、本日は、令和5年度の国保会計の決算について、また、令和6年度の国保計画や運営状況について説明いただきます。皆さんの忌憚のないご意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、国民健康保険の都道府県化では、国が保険料水準の統一に向けて、積極的に後押ししているところですが、鳥取県でも統一に向けたロードマップ案が示されたようです。少子高齢化が進み、被保険者が減少していく中で、安定した国保運営ができるように、引き続き、制度改革の動向に注目していかなければならないと思っています。それでは本日の協議について、どうかよろしくお願いいたします。</p>
事務局	ありがとうございました。続きまして、深澤市長がご挨拶を申し上げます。
市長	暑い日が続いておりますが本日は大変お忙しい中、本年度第1回となります鳥取市国民健康保険運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

<p>事務局</p>	<p>西村会長をはじめ委員の皆様におかれましては日頃より、本市の国保の運営につきまして、格別のご理解ご協力を賜っておりますことに、改めまして心より感謝申し上げます。本日は令和5年度の国保会計の決算、また今年度の事業計画また事業の状況を議題とさせていただいているところであります。</p> <p>令和5年度の決算についてですが、前回1月の協議会でもご説明を申しあげましたように、歳出に対する歳入不足を補っていくということで、基金から2億900万円を取り崩しまして、これを繰り入れすることによって収支の均衡を図ったところであります。</p> <p>委員の皆様ご承知のように、少子高齢化、また人口減少そして被用者保険の適用拡大などを背景として、この国保財政を取り巻く状況は、被保険者の減少や一人当たりの医療費の増加が進み大変厳しい状況が続いているところであります。また、先ほど西村会長様よりご挨拶の中でお話いただきましたように、平成30年に国保の都道府県化がスタートいたしまして、今年は7年度目ということになります。国におきましては、令和17年度までに各都道府県で国保料水準の完全統一を進める方針を打ち出しておられまして、これを受けて鳥取県でもこの保険料水準の統一に至るロードマップの策定を進めておられます。これから県また県内の市町村と協議を重ねて、保険料水準の統一に向けて取り組むことになると考えているところであります。</p> <p>いずれにいたしましても、被保険者の皆さんの負担が公平であり、安定した制度となり、そして安心して医療を受けていただけるそのような制度にしていくべく、本市といたしましても、県内の他の市町村の皆さん、また国・県の皆さんともしっかりと取り組んでいきたいと考えています。国保を取り巻く状況は大変厳しいわけでありますけれども、この制度がこれからも立ち行くことは非常に重要だと考えております。国保料の確保、医療費の適正化、そして適切な効果的な保健事業を推進していくことによりまして、安定した国保運営ができるように引き続き努めてまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>これから詳細につきましては事務局の方でご説明を申し上げたいと思います。どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日の会議は、田中委員と尾崎委員、清水委員は都合によりご欠席です。委員17名のうち14名出席ですので、会議は成立することを報告させていただきます。</p> <p>なお、本日の議事要旨につきましては、委員氏名を伏せてホームページに公開することになりますのでご了承ください。</p> <p>誠に恐縮ですが、深澤市長は次の公務により、ここで退席をさせていただきます。</p>
------------	--

	<p>ます。</p> <p>それでは、これ以降の日程につきましては、西村会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。議事進行にご協力のほどよろしくをお願いいたします。</p> <p>まずは議事録署名委員の選出ですが、本日の会議の議事録につきまして、山本委員と横山委員に署名をお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(山本委員と横山委員の了承を得る)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議題(1)「令和5年度鳥取市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算見込みについて」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1、2に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいまの報告について御意見・御質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>(各委員を確認、発言者なし)</p> <p>ほかにないようでしたら次に移ります。</p> <p>議題(2)「令和6年度国民健康保険事業計画」と議題(3)「令和6年度国民健康保険事業の状況」については、令和6年度の計画と進捗状況として、事務局から一括して説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料3、4、5に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいま事務局より説明いただきましたが、御意見・御質問などがございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>丁寧な御説明でありありがとうございました。資料4の7ページにある国保特別会計の推計について教えてください。令和6年度の単年度収支の推計では歳入と歳出のバランスがとれる可能性があるとの御説明でしたが、それが令和7年度、8年度の単年度収支では赤字が見込まれています。被保険者数の減少など、様々な要因があるかと思えますけれども、令和6年度だけが、黒字という楽観的な数字が出ているので、その辺りについて、もう少し御説明いただければありがたいと思います。</p>
事務局	<p>まず令和6年度単年度収支の推計が黒字となる大きな要因は、令和6年度に県が求める納付金が令和5年度と比べて、5億8千万円ほど減りました。これによりまして、令和6年度の歳出額を大きく抑えることができましたので、歳入と歳出との均衡が取れて、5千万円ほどの黒字を見込んでいるというのが令</p>

	<p>和6年度の推計状況です。</p> <p>次に令和7年度以降の推計ですけれども、現在の保険料率のまま、県が求める納付金の額が令和6年度と同じ水準であった場合を想定したものです。これは令和3年度に県の納付金が前年度から4億円ほど減りましたが、その後の令和4年度、令和5年度の納付金額が令和3年度と同水準の額であったことから、同様の状況を想定して推計しているものです。</p> <p>また、令和7年度以降に単年度収支の赤字が増加する主な要因は、被保険者の減少によって保険料収入などの歳入額が減る一方で、県が求める納付金が下がらなければ歳出額は高止まりしたままとなることから、赤字が生じてくるものです。</p> <p>必要となる歳出額に対して、保険料を据え置いたまま歳入不足が進んだ場合は、令和8年度には約2億円の単年度赤字が出てくる可能性もあるというところですよ。</p>
会長	資料4の7ページの表で、令和6年度の歳出額だけが下がってるのは何ででしょうか。
事務局	令和6年度の歳出額が約176億円と下がっている主な要因は、県へ納める納付金が前年度から5億8千万円下がったことが大きく影響しています。
会長	令和7年度、8年度にかけて歳出額がまた増加していく要因は何ですか。
事務局	令和7年度以降に歳出額が増加している主な要因としては、1人当たりの医療費が伸びてきておりますので、その伸び率を勘案しますと、歳出額としては増えていく見通しとなっております。
会長	ほかに、何か御質問、御意見ございませんでしょうか。
委員	マイナ保険証のことでよろしいでしょうか。12月2日から保険証が廃止されますが、今までは保険証が切り替わると、保険者から通知が来て保険証が届いていたんですけど、これからマイナンバーカードも何年かに1回更新しなければならぬと思うんですけども、どこから更新の通知が来るのでしょうか。鳥取市から案内の通知が来るものなのではないでしょうか。
事務局	マイナンバーカードの更新については、鳥取市からではなく、マイナンバーカードを一元管理している団体でJ-LISから届くこととなります。
委員	期限が切れる前に、更新の通知を送付してくるわけですか。
事務局	そうですね。各個人に通知が届きます。マイナンバーカードの更新自体は、鳥取市で更新していただくこととなります。
委員	事前に更新の通知が届くということは、マイナ保険証として使えないようになるタイムラグはないというわけですよね。
	あと、来年の7月末で現行の保険証が使えなくなるということですが、マイナ保険証を利用できない方には、保険証に代わり資格確認書が送られるということですが、それはプッシュ型で送られるのでしょうか。

事務局	はい。マイナンバーカードの更新の手続きを行っていただければ、タイムラグは生じないものと考えています。あと、資格確認書は有効期限が切れる前にプッシュ型で送ります。
委員	資格確認書がいつ頃届くようになるのか、その辺は考えておられるのでしょうか。
事務局	資格確認書の一斉発送については、現在の保険証と同じ7月下旬に送付する予定です。
会長	ほかにいかがでしょうか。
委員	資料4の7ページの国保特別会計の推計の件ですが、令和6年度の単年度収支額が5,242万円の黒字となっているのは、令和5年度に基金2億900万円を取り崩したからではないのでしょうか。
事務局	この推計では、単年度ごとの実質的な歳入と歳出との差額を把握していただけるように、基金や繰越金の影響を除いた試算としています。そのため、令和5年度に取り崩した基金2億900万円もこの試算からは除いています。 令和6年度の単年度収支額で黒字が見込まれる要因としては、やはり県に納める納付金の額が前年度から大幅に下がったことが大きいと考えています。
委員	分かりました。ありがとうございます。
会長	資料4の5ページに令和6年度の当初予算の資料がありますが、今の御質問に関連して基金の絡みでいえば、歳入に基金1億円を用意されてますけど、今年度の決算見込みでは、この基金1億円を取り崩さなくても黒字が出るということでしょうか。
事務局	はい。資料4の7ページの国保特別会計の推計については、前年度からの繰越金や基金の取り崩しを除いた推計ですので、現時点での令和6年度の決算見込みとしては、当初予算の歳入に計上している基金1億円を取り崩さなくても黒字となる可能性があります。
会長	わかりました。ほかにいかがでしょうか。
委員	いくつか質問がございまして、お教えいただきたいんですけども、まず、鳥取市は、県内市町村のなかで医療費水準が高い方になるのか、低い方になるのかということが、まず1つ。 次に、今後の国保財政については、医療費もさることながら、県に納める納付金次第かなという気がするんですけども、その納付金の額は読めないものかというところが1つ。 あと、大きな話になりますが、鳥取県の保険料水準の統一に向けたロードマップ案が示されてますけど、これは国の方針で全国的に同じだと思うんですけど、ほかの都道府県はどういう動きなのかというのが、また1つ。 最後に、資料5で2ページに統一後の姿とありますが、これは、いつ頃完全統一する予定なのかをお尋ねします。

	<p>今が令和6年度で、納付金ベースの統一が令和11年度、その先もずっと書いてありますが、民間の感覚からすると、非常に悠長な感じがしますし、こんなんびりしていいのかという疑問があります。市町村によって保険料率が上がる場所や下がる場所もあって、いろいろな意見があるというのは分かりますが、保険料水準の統一に向けて、こんなに悠長なロードマップ案でいいのかなという疑問があります。以上でございます。</p>
事務局	<p>まず、鳥取市の医療費水準ですが、県が算定する令和6年度納付金の医療費指数でみると、鳥取市は県内平均よりやや低い状況にあります。</p> <p>次に、県が求める納付金額の見通しについてですが、委員のご指摘のとおり、市町村国保の財政は、県への納付金額による影響を受けながら運営していく状況にありますので、納付金額など、先の見通しが県から示されれば、市町村の財政運営は、より安定するものと考えています。鳥取市としても、県へは以前より将来的な財政運営や納付金の見通しを示していただきたいとの話はしておりますが、前向きなお答えはいただけていない状況です。</p>
事務局	<p>保険料水準統一の他都道府県の状況についてのご質問にお答えいたします。私たちが、手元にある情報でしかありませんけれども、令和6年度に完全統一するのが、大阪府と奈良県の2つと聞いております。また、鳥取県が進めようとされている納付金ベースの統一では、令和5年度までに6自治体が統一されていますし、6年度以降も何自治体づつかは納付金ベースの統一を予定しておられる状況です。先ほど市長の挨拶でもありましたが、国が保険料水準の完全統一を遅くとも令和17年度までに進めること目標としている中で、鳥取県では、まず令和11年度に納付金ベースの統一をしようと考えておられるところです。</p> <p>あと、いつ頃完全統一する予定なのか、鳥取県の保険料水準の統一が、すごくゆっくりなスケジュールで、本当にのんびりしていいのかというようなお話をいただきました。保険料水準の統一について、調整している鳥取県は、県内19市町村すべての合意をもって進める方針を示しておられます。完全統一については、今も19市町村の足並みが完全にそろっていないこともあり、これからの協議になると思っておりますが、私たちからも統一のスケジュールについて、ご意見があったことを県へも話しておきたいと思っております。</p>
会長	<p>医療費指数が低いところは納付金が低く設定されてる。医療費指数が高いところは、納付金が高く設定されてるってことですかね。それと、鳥取市の医療費水準は、県内の中では、やや低いぐらいの位置にいるということで、その医療費水準が上がるということは、納付金が高くなるため保険料率も上がる可能性があるということですか。</p>
事務局	<p>はい、鳥取市の医療費指数は、県全体で見たときに、平均よりも少し低いところにあります。ただ、納付金については、その医療費指数だけで計算をされ</p>

	<p>ているものではないため、納付金が本当に上がるのかどうかも、今の段階では分からないというのが正直なところです。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、分かりました。納付金の算定には医療費指数以外の要素もあり、現段階でははっきりとわからないということですね。ほかに、何か御意見、御質問ございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>2つほどお聞きしたいんですけど、資料4の7ページの最後に基金の保有状況が記載してありますよね。これは、本市の基金保有額ということで、本市全体の基金ですか。国保会計の基金ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>記載の金額は、国保特別会計の基金保有額です。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、分かりました。今、国が被用者保険の適用拡大を進めていて、これまで国保に入っていらっしゃる従業員さんが、だんだんと被用者保険の方へ移っていかれる。そうすると稼働年齢の国保の加入者が減っていき、国保の運営はかなり厳しくなってくる。協会けんぽさんは、将来の赤字も見込みながら、今は意図的に黒字化して準備金を積み立てておられるようですが、この先の国保財政をどのようにやり繰りするか考える必要があると思います。</p> <p>被用者保険の適用拡大は、従業員さんが5名以上の事業所まで適用の検討がされているようですが、将来の財政の見通しを持つためにも、鳥取市で、従業員さんが5名以上の事業所がどれくらいあって、何人ぐらいが対象となるかは把握しておられますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、今年10月から51人以上の事業所で国保から被用者保険へ移行することになりますが、5人以上の事業所の被用者保険へ移行については、国が検討を進めておられる段階です。鳥取市の5人以上の事業所数は、手元にわかる資料がありませんので、また確認しまして、わかれば次回の協議会でお示したいと思います。</p> <p>あと、今後の国保の財政状況はどうかという御指摘をいただきまして、委員のおっしゃるとおり、大変厳しい状況にあることは間違いございませんし、委員皆さまの御意見も伺いながら、安定した運営ができるように、努力していきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。働いている方が、国保から次第にいなくなるということで、国保の制度自体をいかに維持していくかということが、これからとても重要になってくるかと思えます。</p> <p>ほかに御意見・御質問などがないようであれば、本計画のとおり事業を推進していただくようお願いし、その他のデータヘルス計画の進捗状況報告に移ります。それでは事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料6に基づき説明)</p>

会長	ただいまの報告について御意見・御質問がございましたらお願いいたします。 (各委員を確認、発言者なし)
事務局	その他に事務局の方でございますか。 今年度の国民健康保険運営協議会の開催予定についてお伝えさせていただきます。今年度も令和6年度の保険料率をご審議いただくため、令和6年12月と令和7年1月の2回を予定しています。日時は追ってお知らせしますので、引き続きよろしくお願いいたします。
会長	ほかはないようですので以上をもちまして、鳥取市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。 ありがとうございました。
閉会 午後3時25分	

この会議録は、協議会の決定事項等と相違ないことを証明する。

令和 6年 月 日

会議録署名委員

会 長 西村 教子

署名委員 山本 四寿子

署名委員 横山 憲昭